

TGR TEAM KeePer CERUMO

2026 AUTOBACS SUPER GT Report

FUJI GT 300km RACE

第4戦 富士スピードウェイ

KeePer CERUMO GR Supra

#38 大湯都史樹／小林利徠斗

◆8月1日（土） QUALIFY

公式予選結果 4位



5月に行われた第2戦では、接触によるペナルティもあり、悔しい一戦を戦ったTGR TEAM KeePer CERUMO。第3戦マレーシアが延期となったこともあり、チームにとってはその借りを返すのに約3ヶ月のインターバルが必要となったが、8月1日（土）、いよいよ第4戦のレースウィークを迎え、ひさびさに富士スピードウェイにSUPER GTのサウンドが帰ってきた。

KeePer CERUMO GR Supraにとってもひさびさのレースウィークとなった8月1日（土）は、朝から晴天となり、この時期らしい暑さとなった。気温31度／路面温度44度というコンディションのもと、午前10時30分から始まった公式練習で、KeePer CERUMO GR Supraはまずは大湯都史樹がステアリングを握りコースイン。午後の公式予選、そして8月2日（日）の決勝レースに向けて準備を進めていった。

クラッシュやアクシデントはなく、赤旗中断なく進んだ午前の公式練習では、大湯がまずは14周を走行。小林利徠斗は17周をドライブし、GT500クラスの専有走行の時間帯で1分30秒071というタイムを記録。11番手という順位で公式練習を終えた。ただ、順位以上にドライバーからのフィーリングは良い状態。午後の公式予選に向けて、TGR TEAM KeePer CERUMOは作業を続けた。



TGR TEAM KeePer CERUMO



「感触としてはそれほど悪くはなかったです。ひさびさということもあり、少しタイムが伸び悩みましたが、それも原因は分かっていますし、公式予選はもう少しパフォーマンス高く走ることができます」と大湯は公式練習を振り返った。

そんなフィーリングとともに、TGR TEAM KeePer CERUMO は午後 2 時 53 分からスタートした GT500 クラスの Q1 に臨んだ。気温 32 度／路面温度 45 度という暑さのなか、セクター 3 にはほんのわずかに雨がパラつく報告もされたが、ドライコンディションのままアタックが展開された。KeePer CERUMO GR Supra のステアリングを握ったのは小林だ。

タイヤをウォームアップさせ、チェッカーラップに向けてアタックを行った小林は、ここで 1 分 28 秒 166 を記録し一時 6 番手につけたものの、ライバルたちのタイムアップにともない少しずつポジションが下がっていく。しかし、全車がアタックを終えた瞬間、KeePer CERUMO GR Supra のポジションは 10 番手。なんとか Q2 進出が可能な順位に踏みとどまった。

ミッションである Q1 突破を果たした小林は、路面コンディションの変化などフィードバックを Q2 を担う大湯に伝え、チームも KeePer CERUMO GR Supra のセットアップを変更。これが Q2 で功を奏した。

「Q1 を小林選手が突破してくれば、Q2 は頑張らせていただきますよ（笑）」と公式練習後に自信をみせていた大湯は、午後 3 時 31 分から始まった公式予選 Q2 に臨んだ。大湯はタイヤをウォームアップさせると、5 周目に 1 分 27 秒 502 というベストタイムを記録。惜しくも 3 番手には届かなかったが、GR Supra 勢最上位となる 4 番手を獲得した。



TGR TEAM KeePer CERUMO

この予選では HRC Prelude-GT 勢が予選トップ3を占めることになったが、KeePer CERUMO GR Supra の順位はそれに次ぐもの。GR Supra 勢では最上位だ。第2戦の借りを返す準備は整った。

ドライバー／大湯都史樹

「小林選手が Q1 をしっかり突破してくれましたし、Q2 に向けたクルマのフィードバックもしてくれたので、それが功を奏して4番手を獲ることができました。GR 勢のなかでは最上位ですし、他チームを離すタイムを記録できたのは、今ある状況のなかでは良かったですね。トップ3のライバルたちが速いですが、僕たちとしてはベストを尽くすことができましたし、この4番手から決勝ペースが良ければ、ぜんぜん逆転できる可能性を秘めていると思います。明日に向けて不安がない状態で臨めるといいと思いますし、良い土曜日になりました」



ドライバー／小林利徠斗

「今週はおそらく調子は悪くないとは思っています。公式予選では少し噛みあわない部分はあったにしろ、Q1 を通過することができたので良かったです。Q2 に向けてセットアップをし直して、大湯選手も良いアタックをしてくれて4番手につけることができました。決勝ペースも悪くないとは思っているのですが、少し天候が不安ですね。でもそこは天候次第だと思っています。今回、GR Supra 勢が全体的に苦しい予選順位になっている中で、この順位は悪くないと思いますし、明日もこの調子でしっかりレースを戦うことができればと思っています」



TGR TEAM KeePer CERUMO

立川祐路監督

「午前の公式練習からクルマのフィーリングが良く、ドライバーからのコメントもポジティブだったので、その流れを予選に繋げていきました。公式予選では、コンディションが急激に良くなったのですが、小林選手がなんとか Q1 を突破してくれました。小林選手が Q2 に向けてフィードバックをうまくしてくれましたし、アジャストすることができたと思います。それが大湯選手の 4 番手という位置に繋がりましたね。予選についてはライバルメーカーが速かったので、そこには及びませんでした。ロングランも良かったですし、明日は十分チャンスがあると思っています。心配なのは天候ですね。ただ、良い位置から戦うことができますし、天候が変化してもきちんと対応できるようにしたいと思います。皆さんの応援が力になります。ぜひ明日も応援よろしくお願いします！」



TGR TEAM KeePer CERUMO

予選結果

Rank	Car No.	CarName	Q2	Q1
1	8	#8 ARTA MUGEN HRC PRELUDE-GT	1'26.776	1'27.580
2	100	STANLEY HRC PRELUDE-GT	1'27.078	1'27.447
3	17	Astemo HRC PRELUDE-GT	1'27.325	1'27.420
4	38	KeePer CERUMO GR Supra	1'27.502	1'28.166
5	16	#16 ARTA MUGEN HRC PRELUDE-GT	1'27.701	1'28.110
6	37	Deloitte TOM'S GR Supra	1'27.818	1'27.764
7	64	Modulo HRC PRELUDE-GT	1'27.944	1'27.909
8	23	MOTUL Niterra Z	1'27.951	1'28.013
9	12	TRS IMPUL with SDG Z	1'27.986	1'28.144
10	14	ENEOS X PRIME GR Supra	1'28.009	1'28.040
11	36	au TOM'S GR Supra		1'28.355
12	19	WedsSport BANDO H GR Supra		1'28.362
13	39	DENSO KOBELCO SARD GR Supra		1'28.380
14	24	REALIZE CORPORATION Z		1'28.717

